



2010 年度版 様式集

田んぼの生きもの調査 を行うための 実施マニュアル

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター

【 1 . 生きもの調査の年間計画をたてましょう 】

本センター（BASC）では、下記のような生きもの調査を実施しています。調査の内容や時期、対象者、講師やインストラクターの派遣依頼、費用などお気軽にご相談ください。

（ 1 ）生きもの調査の内容について

- a . ラインセンサス調査：金魚網とミニ水槽を持って田んぼに入り、見つけた生きもの捕まえ、みんなで確認しあいながら記録します。（初心者向け）
- b . ランダム調査：田んぼの中や水路、畦の周りなど、生きものがいそうな場所をねらって、金魚網や捕虫網、タモ網（魚用の網）などを利用して、生きものを捕まえ、みんなで確認しあいながら記録します。（初心者向け）
- c . カエル調査：数人で畦を歩き、畦にいるカエルの種類と数をかぞえます。
- d . 畦の草花調査：畦に咲いている草花を中心に、花の色ごとに整理して種類を調べます。
- e . イトミミズ・ユスリカ調査：田んぼ土を採取し、田んぼの土をつくってくれているイトミミズとユスリカの数をかぞえます。（生産者および中級者向け）
- f . コドラート調査：木枠を使用し、田んぼの水中と泥表面に生息する生きものを土とともに網ですくい、種類と数を調べます。（生産者および中級者向け）
- g . 生息環境調査：計測機器を使用し、田んぼの水質や土壌の様子を調べます。（生産者及び中級者向け）
- h . 少人数（1人～3人など）で行う調査：対象とする生きものなど、ひとつの項目やテーマを絞り込んで行います。
- i . その他（全国一斉調査など）：年度毎に調査するテーマを設定し、そのテーマに沿った方法による調査を行います。

（ 2 ）生きもの調査の時期について

生きもの調査を行う時期としては、下記の3回の調査を勧めています。調査を行う対象者や内容に応じて、このうちの1回は必ず実施して下さい。また、冬場でも水を確保できる田んぼでは、冬に調査を行うことも可能です。

- A . 田植え直前（5月中旬～6月上旬）：田植えの準備により水を張った田んぼに集まってくる生きものを調べることができます（3ページ参照）。
- B . 田植え後30日～40日（6月下旬～7月中旬）：苗の根も活着しているため、田んぼに入って水生昆虫などの調査ができます（4ページ参照）。
- C . 出穂（8月上旬～8月下旬）：虫見板などを使用し、生育した稲につく虫やクモなどの調査もできます（5ページ参照）。（夏休みを活用して行う）
- D . 冬の田んぼ調査：ふゆみずたんぼ、田んぼ内ビオトープなど、冬場でも水辺のある田んぼを中心に、冬場に見られる生きものを探します。

表1 調査の時期と内容の対応表

調査の内容	A (田植え前)	B (田植え後)	C (夏の間)	D 冬の間
a. ラインセンサス調査				
b. ランダム調査				
c. カエル調査				
d. 蛙の草花調査				
e. イトミミズ・ユスリカ調査				
f. コドラート調査				
g. 生息環境調査				
h. 少人数(1人~3人)による調査				
i. その他(全国一斉調査など)				

(:最適、 :適、 :可能)

A(田植え前): 鳥類やカエル、水生昆虫、貝類・魚類、蛙の草花まで調べることができます。

B(田植え後): 鳥類やカエル、水生昆虫、貝類・魚類、蛙の草花まで調べることができます。

C(夏の間): 鳥類やカエル、水生昆虫、貝類・魚類、蛙の草花まで調べることができます。

秋の稲刈りとともに行うことも可能です(バッタやクモなどを調べることができます)。

D(冬の間): 水辺の生きものや土の中の生きもの、蛙に生えている植物を調べることができます。

表2 調査の時期・内容・場所の対応表

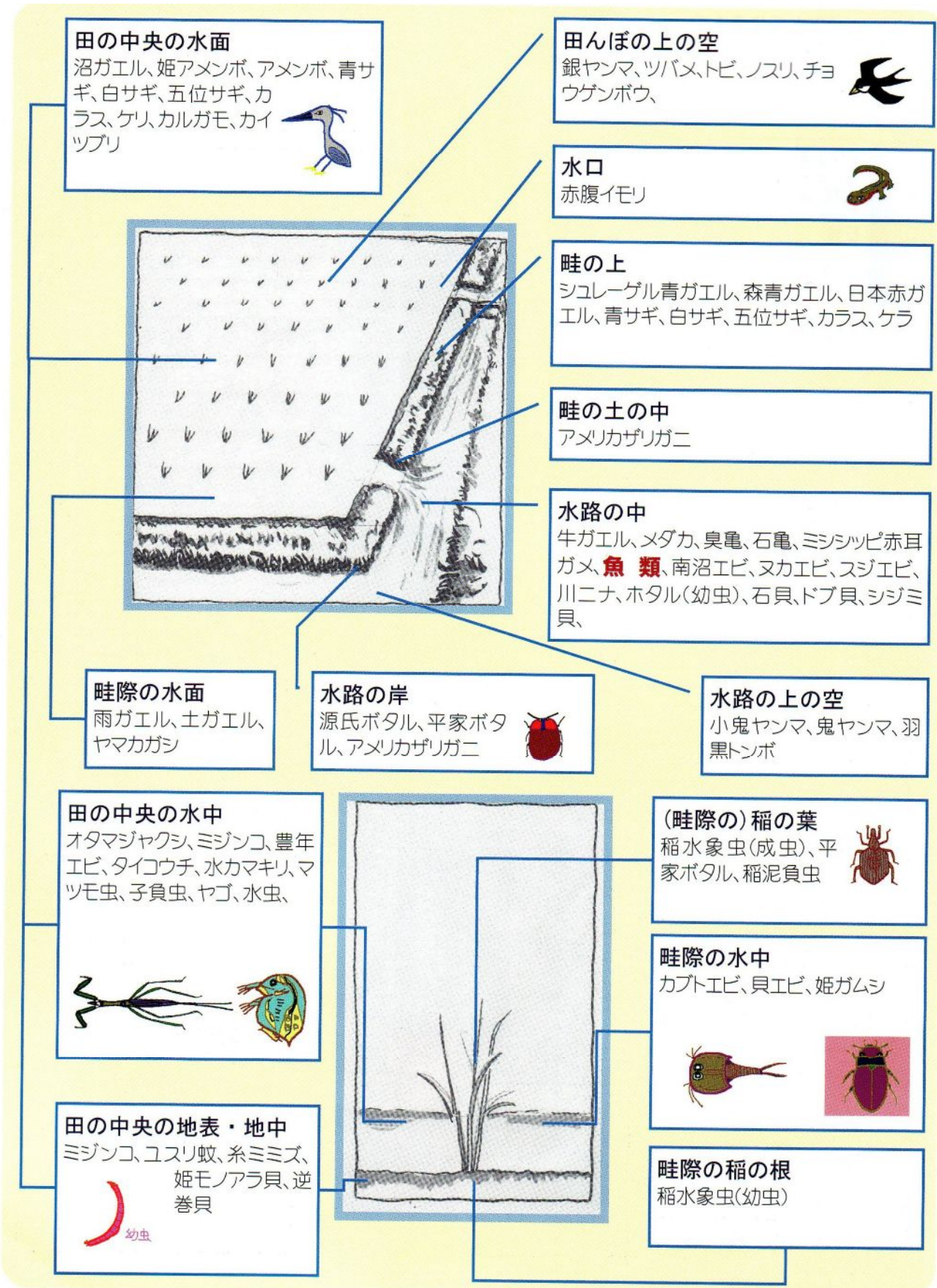
調査の内容	調査の視点						
	空間	イネの葉	イネの根元	蛙	水路	水中の動物 (水質)	土中の動物 (土壌)
a							
b							
c							
d							
e							
f							
g							
h							
i							

(:最適、 :適、 :可能)

a. ラインセンサス調査、 b. ランダム調査、 c. カエル調査、 d. 蛙の草花調査

e. イトミミズ・ユスリカ調査、 f. コドラート調査、 g. 生息環境調査、
h. 少人数(1人~3人など)で行う調査、 i. その他(全国一斉調査など)

< 田植え後 15 日頃の田んぼの生きもの >



(出典：「田んぼのめぐみ 150 (生きもの調査 初級編マニュアル)」)

< 田植え後 40 日頃の田んぼの生きもの >

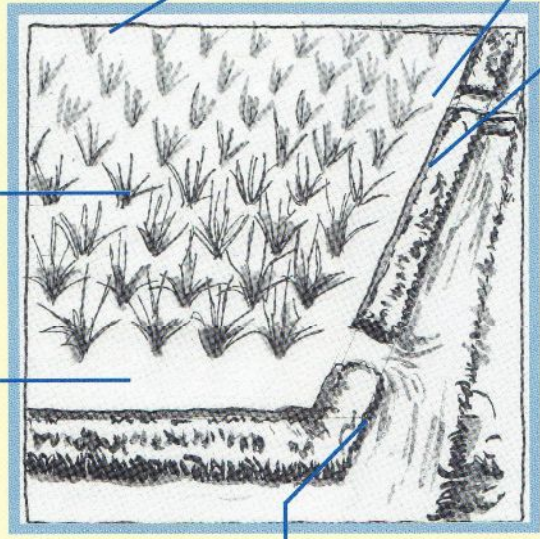
田の中央の水面
 菊月子守グモ、黄腹
 子守グモ、糸アメン
 ボ、血吸ピ
 ル



田んぼの上の空
 薄羽黄トンボ、ノシメトンボ、秋ア
 カネ、蝶トンボ



水口
 姫モノアラ貝、逆巻貝



畦の上
 日本赤ガエル、山赤ガエル、殿様ガエル、東京
 ダルマガエル、菱バツタ、シマヘビ、マムシ、
 猩々トンボ、塩辛トンボ

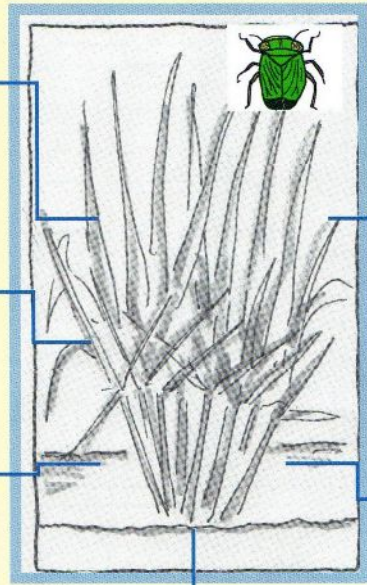
畦際の水面
 殿様ガエル、走りグ
 モ、芥子肩広アメン
 ボ、菱バツタ

水路の岸
 猩々トンボ、小鬼ヤ
 ンマ

サギの種類

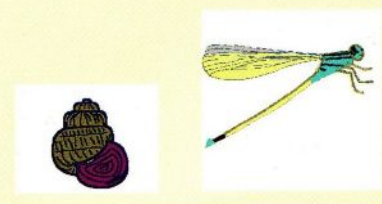
	ゴイサギ	アオサギ	ダイサギ	チヌケサギ	コサギ	アマサギ
主なエサ場	水田・池	干潟・川	干潟	水田	水田	水田
主なエサ	魚・蛙	魚	魚	魚・蛙	魚・虫	虫
越冬地	国内	国内	国内	アジア	国内	フィリピンなど
希少種				減少	増加	増加
活動時	夜	夜	昼	昼	昼	昼

田の中央の稲の葉
 ヒゲ長ヤチ蠅、稲ツト虫、ツ
 マグロヨコバイ、葉巻袋グ
 モ、細ヒラタアブ、コブノメイ
 蛾、稲青虫



稲と稲の間
 黄糸トンボ、青紋糸トンボ、アジ
 ア糸トンボ

田の中央の稲の茎
 背白ウンカ、姫烏ウンカ、青
 翅蟻形ハネカクシ、薄羽黄ト
 ンボ(羽化)



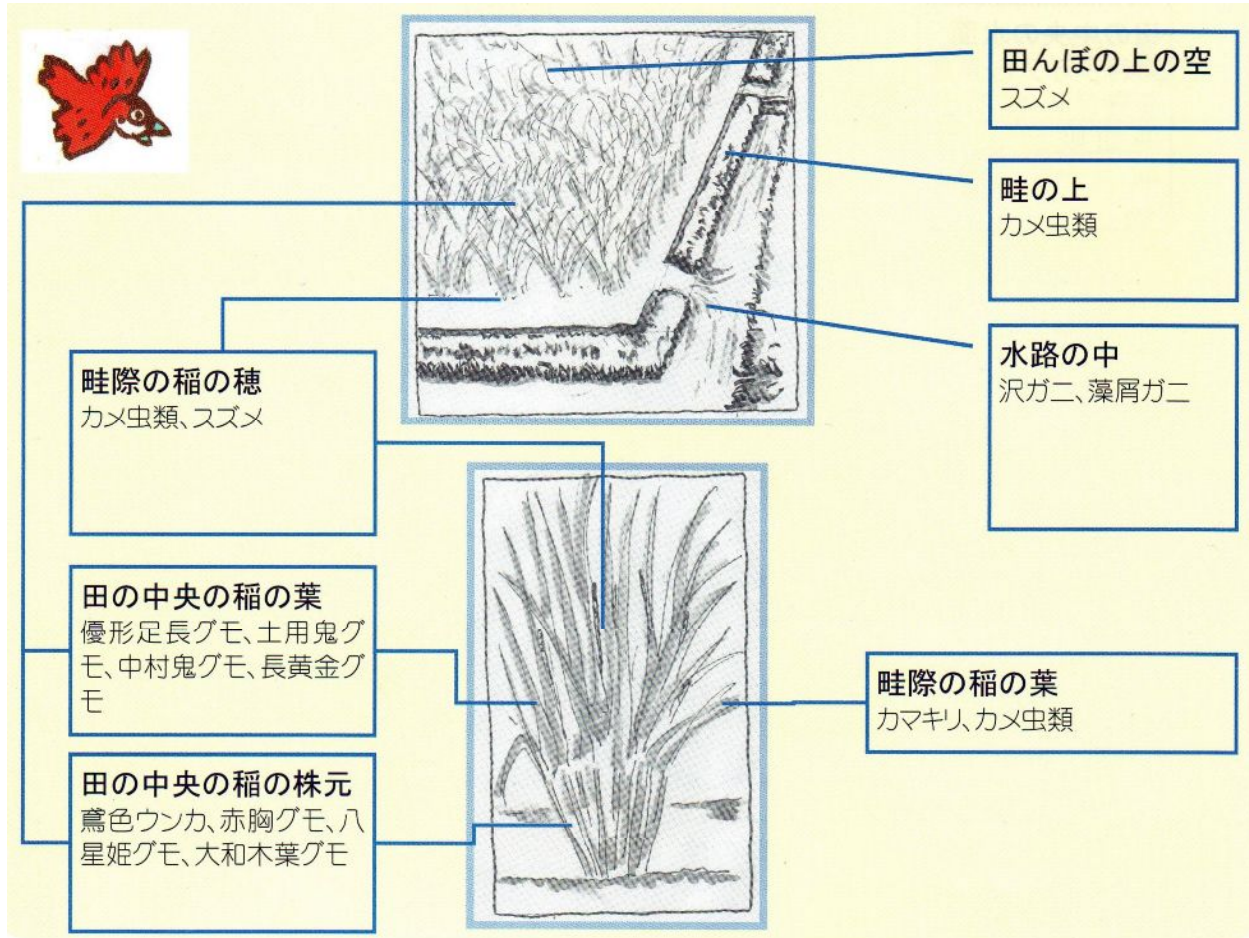
田の中央の水中
 タニシ、スクミリンゴ貝、ゲン
 ゴロウ類

畦際の水中
 灰色ゲンゴロウ、小縞ゲンゴロ
 ウ、縞ゲンゴロウ、姫ゲンゴロ
 ウ、ガ虫類、小頭水虫

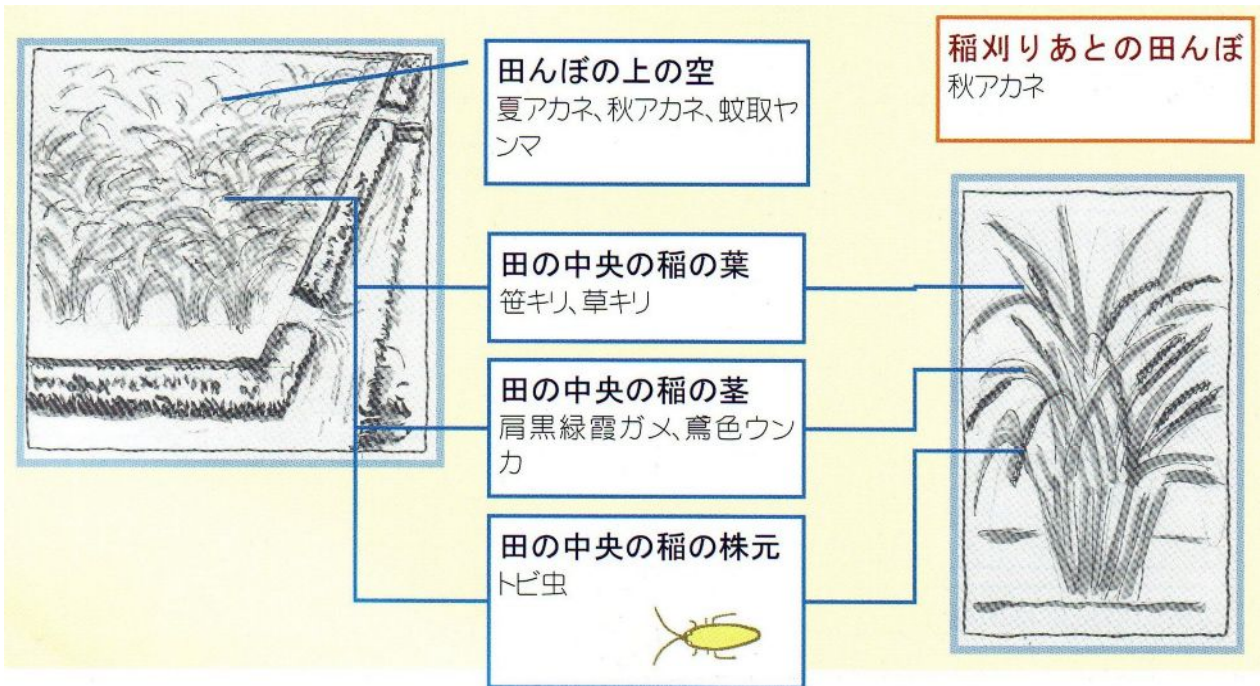
田の中央の稲の根本
 平巻水マイマイ

(出典:「田んぼのめぐみ 150 (生きもの調査 初級編マニュアル)」)

< 出穂期の田んぼの生きもの >



< 出穂後の田んぼの生きもの >



(出典:「田んぼのめぐみ 150 (生きもの調査 初級編マニュアル)」)

(3) 生きもの調査の準備について

生きもの調査を行うには、いろいろな準備が必要となります。下記のチェックリストを参考に、生きもの調査の年間スケジュール(概要)および、調査毎スケジュール(詳細)を作成し、BASCに提出して下さい。

【 生きもの調査の流れ 】

田んぼ市民の登録(原則としてBASC会員および田んぼ市民の登録をお願いしています)
まだ田んぼ市民に入っていない個人、またはメンバーを登録しましょう。
: 昨年と同じメンバーで行う 田んぼ市民申込用紙の提出不要
: 新しいメンバーを加えて行う 田んぼ市民の登録申請が必要(【2】~【4】参照)

年間スケジュールの作成(1月から3月)
調査を行う場所、時期、対象者、参加人数、指導者、調査の目的・内容を整理しましょう。
: 調査の場所(田んぼ)の確保する
: 調査を行う時期と回数について、予定日を決める
: 調査毎の目的および内容(概要)を決める
: 調査の参加者の構成メンバーを決める
: 調査を行う際の、現地スタッフを確保する
: 調査時の講師およびインストラクターを確保する
: 調査にかかる費用を算出し予算を確保する。
: 年間計画書を作成し、BASCに送る

調査毎のスケジュールの作成(調査1ヶ月前)
調査を行う場所、天気、参加者の募集状況、講師等の手配状況の確認、現地スタッフの役割、タイムスケジュールの作成などを行います。
: 調査の場所(田んぼ)の状況の把握する(田んぼ、水路、畦草の状況など)
: 調査実施日の天気を確認する(雨天時の対策などを検討しておく)
: 参加者の募集案内の作成および募集状況を把握する
(人数により調査スタッフの人数も変動する)
: 調査時の現地スタッフの役割を決める(進行、データ記録、写真など)
: 講師およびインストラクターの交通手段(宿泊)の手配を確認する
: 調査日のタイムスケジュールを作成する
: 調査毎の計画書を作成し、BASCに送る

調査の実施(調査前日および当日)
調査に必要な道具の確認、救急箱等の確認、スケジュールの最終確認を行います。
: 調査道具、資料、テキスト、調査シートなどを確認する
: 子どもが転んで怪我などをした場合に備えて、救急箱等を用意する
: 調査時の記録をとる
: 調査時の様子を写真にとる
: 調査時の感想などを聞いておく(アンケートをとる)

調査のまとめ(調査後、2週間以内)
調査データを整理し、次回(来年度)に向けて準備を行います。
: 調査データを整理する(写真や参加者の感想があると当日の様子がわかる)
: 講師やインストラクターの結果報告をもとに、次回の予定をたてる(検討する)
: 調査結果をBASCに送る
: 講師およびインストラクターの費用を清算する(BASCから請求書を送付)

(4) 調査毎の計画書の作成について

生きもの調査実施の1ヶ月前までに、当日のスケジュールを作ります。参加者の募集案内なども同時につくり、地元の新聞社、テレビ局、ラジオ局（FM局など）、子どもが参加するような場合は、子ども新聞などにも案内を送り、当日取材に来てもらうなど、地元にあるマスメディアを活用しましょう。いろいろな準備、人の手配が必要となります。下記のチェックリストを参考に、生きもの調査毎のスケジュール（詳細）を作成し、BASCに提出して下さい。

【各生きもの調査について】

調査する田んぼの確認

生産者に調査の内容を説明し、ラインセンサス調査などの場合は大勢が田んぼに入ることになるので、確認をとるようにします。また、スタッフや参加人数などにより、農法の異なる田んぼの複数で調査を行い、結果（データ）を比較することもできます。

- ：調査の内容を生産者に説明し、最終確認をとる
- ：栽培方法をはじめ、苦勞している事、工夫している事を確認する
- ：スタッフや参加者の車が、田んぼの近くの畦や道路に駐車可能かを確認する
- ：田んぼの状態を確認する（調査時に、田んぼに水が張ってあるかどうか等）
- ：水路の水の状態を確認する（魚類などの調査が可能か、採取した土が洗えるかどうか等）
- ：畦の状況を確認する（カエル調査や草花調査が行えるよう、草刈等の時期を確認する）

調査内容の確認

調査時の田んぼの状況、参加者の構成、調査の目的、講師やインストラクター、現地スタッフ等を確保し、調査の内容を決めます。

- ：調査箇所数を決める（有機栽培、減農薬減化学肥料栽培、慣行栽培毎に行うなど）
- ：調査する田んぼ毎に、講師やインストラクター、現地スタッフの担当者などを決める
- ：調査の内容を決める
- ：事前レクチャーや、調査後のまとめを行う場所（部屋）を確保する
- ：調査後に足や手を洗う水場を確保する
- ：野外活動のための保険加入の準備をする

BASCへの依頼事項の確認

講師およびインストラクター等の派遣、調査道具、調査シート、テキスト・ポケット図鑑等の書籍など、必要なものを整理し、BASCに依頼します（計画書の提出）

- ：講師及びインストラクター、アシスタント（BASC依頼 or 現地で対応）
- ：講師及びインストラクター、アシスタントの交通手段・宿泊手配
(BASC依頼 or 現地で対応)
- ：調査道具（BASC依頼 or 現地で対応）
- ：テキストやポケット図鑑等の書籍（BASC依頼 or 現地で対応）
- ：調査資料および調査シート（BASC依頼 or 現地で対応）

現地での対応事項を整理

調査の段取りなど、現地で対応する部分を整理し、細かいスケジュールについてBASCと連絡を取り合いながら、当日に向けて準備を進めます。

- ：参加者の募集および参加人数の把握
- ：講師及びインストラクター、アシスタントの現場までの案内

(5) 地域の指導者の育成について

BASCでは、生きもの調査のインストラクターやアシスタントを育成するための講習会を5月から6月にかけて、東日本エリア、西日本エリアなどに分けて行っています。生きもの調査に興味・関心のある方、地元でやってみたいと思っている方は、是非ご参加下さい。BASCのホームページ等で案内を掲載いたします。

また、要望(30名~50名規模)に応じて地域別を実施しております。

映画「田んぼ」の上映会を合わせた勉強会や研修会などを行うことも可能です。

ご検討いただき、BASCまでご連絡ください。

案内チラシの一例(左:アシスタント講習会・東日本) 右:アシスタント講習会・佐渡(初級編))

BASC 多様性 農業支援 ウィンター

“地元の”生きもの調査指導者を目指せ!

東日本 アシスタント講習会

● 開催日
2009年 4/2 (木) ~ 3 (金)

(10:00 開始) (15:00 終了)

● 開催場所: 丹波市ホテル 甲府館2-211
山形県南陽市赤湯温泉 TEL: 0238-43-3030 (代)

● 定員: 70名
(定員オーバー等で、受講できない場合がありますのであらかじめご了承ください)

● 参加申し込み: 指定の申し込み用紙にて
参加費用: 参加費 15,000円、宿泊費 12,000円 (日帰りでも懇親会参加の場合 5,000円)、弁当代 1,000円
※宿泊は、相部屋となります。 ※参加費は3月22日までに振込みをお願いします。

● 申し込み締めの切り: 3月22日
● お問い合わせ先: 特定非営利活動法人 生物多様性農業支援センター (担当: 石川)

● TEL: 042-711-7015
● FAX: 042-711-7016
● E-Mail: tanbo@wehsb.jp

主催: 特定非営利活動法人 生物多様性農業支援センター

※東日本アシスタント講習会は5月16日(土)~17日(日)追加での開催を予定しております。詳細は決まり次第のホームページに掲載します。

BASC 多様性 農業支援 ウィンター

“地元の”生きもの調査指導者を目指せ!

佐渡 初級編

田んぼの生きもの調査 アシスタント講習会

● 開催日
2009年 5/30 (土) ~ 31 (日)

(12:00 受付 13:00 講習開始) (15:00 終了)

● 開催場所: トキ交流会館
〒952-0103 新潟県佐渡市新穂場上 1101-1
TEL: 0259-24-8040
<http://www.toki-house.jp/>
阿佐池より 高線バス(新穂経由佐和田行き)にて天王下下車、徒歩10分。

● 定員: 50名
(定員オーバー等で、受講できない場合がありますのであらかじめご了承ください)

● 参加申し込み: 指定の申し込み用紙にて
参加費用: 参加費 2,000円 ※資料代別途(1,600円: 下記の冊子を使用します)
(農のめぐみ150、ポケット菜園(動物欄・植物欄)をお持ちの方はご持参ください)
宿泊費 7,000円 (懇親会(夕食)、朝食付)
宿泊をされず懇親会のみ参加する場合 3,000円
弁当代 1,000円
※宿泊は、相部屋となります。 ※参加費は5月22日までに振込みをお願いします。

● 申し込み締めの切り: 5月22日(金)
● お問い合わせ先: 特定非営利活動法人 生物多様性農業支援センター (担当: 石川)

● TEL: 042-711-7015
● FAX: 042-711-7016
● E-Mail: tanbo@wehsb.jp

カリキュラム(予定)
(1日目: 5/30) 原 新造
生きもののおまじない! 宇味 豊
映画「田んぼ」の上映
(2日目: 5/31)
生きもの調査実習
(観察地: トキを育む農地)

共催: 佐渡市役所、特定非営利活動法人 生物多様性農業支援センター

【 地域で活躍できる人材を育て、増やしましょう 】

BASCが主催する講習会に参加して技術を学び、さらに「生きもの調査」の実践の場を数回経験したら、今度は地元の指導者として、さらに人材を育成していきましょう。

地元で講師や指導者が増えれば、BASCに依頼する経費を減らすことができます。さらに、地域団体が主催する生きもの調査や講習会を活発に行うことができるようになります。

(6) 生きもの調査にかかる費用について

生きもの調査を実施するには、調査に必要な道具をはじめ、講師やインストラクターを依頼し、調査の指導やサポートを必要とします。そのため、**生きもの調査を実施する産地を主体に、生きもの調査に伴う費用をあらかじめ計算し、予算を立てておく必要があります。**

生きもの調査を実施する方法として、生協の産直活動と一緒にを行う、地元のJAと協力して行う、地域のNPO団体の活動と一緒にを行う、自治体の教育施設等と協力して行う、食農教育の一環として行う、など様々な取り組みが考えられます。

田んぼ市民(田んぼグループ)により、取り組みやすい方法を検討し予算の調整をお願いします。生きもの調査の内容とともに費用等についても相談に応じます。BASCまでご連絡ください。

【 生きもの調査に係わる価格見積もり表(平成22年4月現在) 】

項 目		内 容	単 位	価 格 (円)	備 考
企画手数料	全体企画 人材派遣 全体運営管理	実施計画の策定 調査資料の作成 調査運営の指導 調査準備の指導 報告書作成の協力 調査データの管理	1 回	30,000	田んぼ市民登録 生産者 10 人以上 の場合は半額 (15,000 円)
講師および指導者	コーディネーター派遣	生きもの調査全体の 指導	1 人	50,000	生きもの調査の まとめ 指導を含む
	インストラクター派遣	生きもの調査の技 術指導	1 人	30,000	
	アシスタント派遣	生きもの調査活動 の補助	1 人	10,000	調査のサポート
旅費等	旅費・宿泊費		1 人	実費	
	インストラクター前泊日当	前日準備作業等	1 人	15,000	打合せを含む
調査器具	調査器具の貸出	土壌・水質調査	1 式	10,000	3 日以内に返却 着払い・元払い
		生きもの調査道具	1 式	5,000	
	調査器具(土壌・水質調査)	計測機器	1 式	185,520	
	観察用トレイ(白)	トレイ(40 枚入)	1 式	13,200	
	コドラート(木枠)+専用網		1 式	11,000	

【 講演会に係わる価格見積もり表(平成22年4月現在) 】

項 目		内 容	単 位	価 格 (円)	備 考
講演会 のみ	講師派遣	講習会・研修会	1 人	50,000	
		シンポジウムパネラー	1 人	30,000	
	准講師派遣	講習会・研修会	1 人	30,000	
		シンポジウムパネラー	1 人	20,000	
生きもの 調査と 講演会	コーディネーターの派遣等 + 講師 生きもの調査指導と講演会のセ ット派遣	講演会と生きもの調査 の指導	1 人	75,000	生きもの調査指 導人材派遣料金 + 講演会人材派 遣料金 × 1/2
旅費等	旅費・宿泊費		1 人	実費	

【 生きもの調査に係わる書籍&グッズの価格表（平成 22 年 4 月現在） 】

項 目	内 容	単 位	価 格 (円)	備 考	
書籍等	ポケット図鑑（動物編、植物編）	1 冊	各 300	BASC 会員 (250 円)	
	田んぼのめぐみ 150	初級編マニュアル	1 冊	1,000	
	田んぼのまなざし	中級編マニュアル	1 冊	1,000	
	生きもの指標（全種リスト付）	2 冊セット	1 組	1,800	
	田んぼの草花指標		1 冊	1,000	
	田んぼの生きもの全種リスト・改定版		1 冊	3,000	
	街の生命 100（ポケット図鑑）		1 冊	400	
	田んぼの生きもの おもしろ図鑑		1 冊	4,800	
	田んぼの生きもの調査 実践編（2004 年度版） 実践編 2（2005 年度版） 実践編 3（2006 年度版） 実践編 4（2007 年度版）		1 冊	各 1,000	BASC 会員 (各 300 円、 4 冊セットで購 入の場合 4 冊で 800 円)
	ごはん 1 杯（ポスター）		1 枚	200	
	ごはん 1 杯（下敷き）		1 枚	200	
	虫見板		1 枚	300	
	カエルの声（CD）		1 枚	500	
	映画「田んぼ」DVD（短編 21 分）		1 枚	3,000	
	映画「田んぼ」DVD（63 分）		1 枚	100,000	
	エコバック（布製）		1 枚	1,000	
T シャツ（XS、S、M、L、LL、3L）		1 枚	2,000		
パーカー（M、L、LL）		1 枚	3,500		
幟（のぼり）		1 式	指定価格		

（必要に応じて、書籍やグッズをご注文ください）

【 例：生きもの調査と講演会に係わる費用（1泊2日）参加者 30 人 】

項 目	単 位	価 格 (円)	計 (円)	
企画手数料	田んぼ市民登録生産者 10 人以上の場合は半額 (15,000 円)	1 回	30,000	30,000
生きもの調査と 講演会	コーディネーターの派遣 + 講師の派遣（講演料は通常価格の 1/2）	1 人	75,000	75,000
生きもの調査	インストラクター派遣	1 人	30,000	30,000
旅費等	旅費・宿泊費	2 人	実費	実費
	インストラクター前泊日当	1 人	15,000	15,000
調査器具	生きもの調査道具の貸出 (3 日以内に返却、着払・元払い)	1 式	5,000	5,000
書籍等	書籍（ポケット図鑑・動物編）	30 冊	300	9,000
	書籍（ポケット図鑑・植物編）	30 冊	300	9,000
BASC グッズ等	エコバック	30 枚	1,000	30,000
合 計				203,000 + 旅費・宿泊費

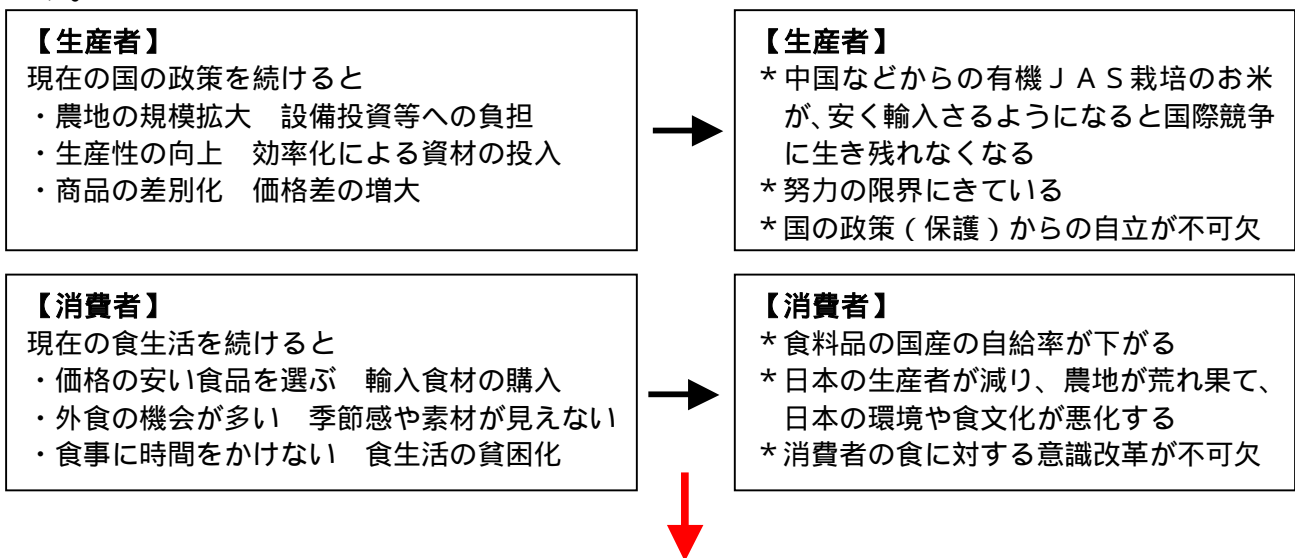
【 2 . 個人からグループへ、生きもの調査の仲間を増やしていきましょう 】

現在の日本の農業政策は、農地（田畑）の規模拡大、生産性の向上、商品のブランド化を重要視しています。しかし、今のままでは中国などから有機 JAS の栽培によるお米が安く大量に輸入されるようになれば、日本の農家は国際競争に勝てず、生活ができなくなり農業を止めざるを得なくなります。農家の高齢化や後継者不足も深刻化しており、まさに農家の努力の限界にきているのです。

また、私たち消費者の食生活も改善しなくてはなりません。海外からの安い食材による飽食のスタイルを変えていかない限り、日本の農業は崩壊しかねない状況にあるのです。

生産者と消費者が共に、日本の農業や国産の食材に対する危機感を覚え、意識を変えていかなくてはならない時期にきています。「田んぼの生きもの調査」を主体とした、「田んぼ市民運動」は、日本の農業を支える新たな視点となり活力となるものです。

「田んぼ市民」は、生産者や消費者、老若男女を問わず、誰でもなることができます。そして、田んぼ市民になった方が、それぞれの思いにより「田んぼ市民運動」を行うことができます。田んぼ市民運動の柱となるのが、「生きもの調査」「生きもの認証」「田んぼ支払い」です。その仕組みや内容を知ってもらうことが「田んぼ市民運動」の第一歩となります。



田んぼ市民運動は、田んぼ市民となられた一人ひとりが参加し、田んぼ及び田んぼの周りの環境を考える取り組みです。環境に配慮し、生物の多様性を豊にする農法に取り組む生産者の活動を一緒に支え合う人そのものです。

生産者同士、協力店（米穀店・飲食店等）と生産者、消費者同士、あるいはそれぞれ関わりあった人同士が、田んぼ市民グループとして登録し、グループみなさんで生きもの調査の計画をつくり、実際に田んぼに入って調査を行い、結果を報告し合い、できたお米をみんなで食べる。このような仲間をみんなで増やしていきましょう！

申請する場合は、「様式 1：グループ一括申込書」に記入してお送り下さい。

【 3 . 田んぼ市民には、こんな役割があります 】

【 A : 生産者、および生産者を中心としたグループ 】

1年間の栽培計画を基に、生きもの調査の時期や内容を考え「生きもの調査の年間スケジュール」をつくります。(1月~3月の間に年間計画をたてましょう!)

「様式2:活動計画書」をお送りください。

生きもの調査の計画及び結果をBASCに報告することで、「生きもの認証」のマークがもらえます。生きもの調査を行っているグループのお米は「生きもの認証米」として販売できます。申請する場合は「様式3:生きもの認証申請書」「様式4:ピオ・アップ活動報告書」をお送り下さい。

「生きもの認証」を受けているグループは、「田んぼ支払い」の申請をすることで、活動の資金を「生きもの認証米」などから得ることができます。

申請する場合は「様式5:田んぼ支払い申請書」をお送り下さい。

【 B : 消費者、および消費者を中心としたグループ 】

普段食べている、お気に入りの産地や生産者のお米に対して、実際に産地を訪れて、生きもの調査などに参加をすることができます。

知り合いの生産者が、まだ田んぼ市民に入っていないければ、一緒にグループ登録を行うことにより、生きもの調査の計画づくりから参加することもできます。

「生きもの認証」または「田んぼ支払い」の申請を行っているグループには、「生きもの認証米」を購入することなどにより、活動の資金の一部を支援することになります。

【 C : 協力店、および協力店を中心としたグループ 】

環境に優しく、生物多様性の豊かな田んぼづくりの活動をしている生産者のお米を取り扱う協力店(米穀店や飲食店など)が中心となり、生産者や興味・関心のあるお客さんとともに、実際に産地に訪れて、生きもの調査をすることができます。

まだ生きもの調査を実施していない生産者の場合は、一緒にグループ登録を行うことにより、生きもの調査の計画づくりから参加することもできます。

「協力店」には、店の前などに、幟(のぼり)を掲げPRできます。

【 D : 子どもたちを中心としたグループ(団体) 】

田んぼ市民は、運営のために維持管理費として年会費(1,200円)をいただくことになり、対象者は18歳以上としていましたが、親子でも参加したいという声も多いことから、親子で参加できるよう、新たに「田んぼ子どもくらぶ」を設けました。

「田んぼ子どもくらぶ」は、田んぼに入って田植えや草取り、生きもの調査などに一緒に参加できるよう、5歳以上を対象にしています。(申請すると、田んぼ子どもくらぶカードを発行します)

幼稚園・保育園・小学校など、食農教育で「生きもの調査」を行う場合は、団体やグループでまとめて「田んぼ子どもくらぶ」の申込みができます。

申請する場合は「様式6:田んぼ子どもくらぶ申込用紙」をお送り下さい。

(グループ・団体:1人500円)

【 4 . 田んぼ市民について、さらに詳しく知りたい方へ 】

田んぼ市民に入会いただきますと、BASC より「田んぼ市民カード」を発行致します。様々な情報をお届けするとともに、記載してあります会員番号により「生きもの調査の参加状況」や「田んぼ支払いの貢献度」などがホームページ上で確認することができるようになります。田んぼ市民カードの裏面に記載してあります「田んぼ市民宣言」をお読みいただき、BASC が支援・協力する活動に積極的をお願い致します。

【 田んぼ市民宣言 】

私たちは田んぼ市民運動の趣旨に賛同し、次の活動を実行します。

地域の様々な人が参加する田んぼの生きもの調査活動

地域の子どもたちを育てる食農教育活動

地域の食文化と伝統を守る活動

生物多様性を育む農業生産活動

田んぼを中心とする里山や原生林、里海等の流域と連携する活動

世界の田んぼ市民と連携する活動

【 A : 生産者、および生産者を中心としたグループの方へ 】

田んぼ市民宣言に基づき、具体的な活動計画をつくり BASC に報告してください。活動計画や結果をホームページ (HP) 等に掲載し、活動内容を世界中の人に発信いたします。田んぼの様子や調査の雰囲気や伝わるような写真、参加者の感想などもお寄せ下さい。

この生きものを見守りたい、こんな生きものが見られる田んぼにしたいなど、調査する田んぼの「指標生物」を設定して下さい。

生きもの調査の計画や結果報告を BASC に提出すると「生きもの認証」の申請ができます。生きもの調査を実施している個人、グループには「生きもの認証シール」を発行いたします。

「生きもの認証シール」をつけた商品 (お米) が、田んぼ支払いの対象となります。商品が決定しましたら、青果ネットカタログ「SEICA」(<http://seica.info/>) に登録してください。操作方法等についてわからない場合は BASC に連絡ください。

BASC の Web ショッピングでの販売を希望される方は BASC にご連絡ください。

田んぼ支払いの対象となる商品には、「田んぼ支払い金額カエルシール」を発行します。商品別に田んぼ支払い金額を設定 (概ね小売金額の 5 % 前後) し、シールを貼り付けてください。

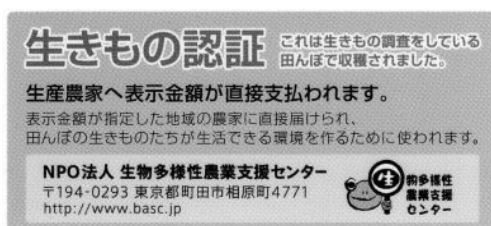
田んぼ支払いの金額は、生産者および生産者を中心としたグループ毎に集計し、毎年 11 月に支払います。

受け取った「田んぼ支払い」は、田んぼ市民宣言に基づいた活動経費にご利用ください。金額の大小に関わらず、用途を BASC に報告してください。HP に掲載し、どのように使われているのかがわかるようにします。

皆さんの取組む姿を多くの方に見てもらい、賛同を得られるよう BASC として支援・協力していきます。紹介する内容や写真など、情報の提供をお願い致します。

青果ネットカタログ「SEICA」の登録は、商品内容の表示などトレーサビリティの担保だけではなく、米穀店などの店頭広告チラシの作成などにも利用できます。情報や写真などを更新し、産地からの新しい情報が得られるように活用してください。

将来的には、田んぼ市民の方々による田んぼ支払いによって、皆さんの地域活動に必要な経費に充てられるようになればと考えています。



「生きもの認証シール」



「田んぼ支払いシール」

【 B：消費者、および消費者を中心としたグループの方へ】

田んぼ市民宣言に基づき、地域の活動に積極的に参加できるよう情報をお送りいたします。

生きもの調査の参加に限らず、BASCのWebショッピングやBASCのホームページ(HP)に掲載している協力店により、生きもの調査を行っている生産者(個人およびグループ)のお米「生きもの認証米」を購入することができます。さらに、「田んぼ支払い」により活動資金を寄付することができます。

「田んぼ支払い」対象となる商品には、「生きもの認証シール」が貼ってあります。BASCのHPや協力店の店頭でもご確認ください。

対象商品とは別に、生産者の活動を評価し、さらに活動の支援をされたい方は、「田んぼ支払いカエルシール」を確認してください。商品の代金とは別に、シールの金額分が活動に対する寄付の金額となります。

活動支援金(田んぼ支払い)は、目的の地域の生産者および生産者グループに届きます。従来の寄付とは異なり、寄付金がどのように利用されているかについて、BASCのHPで確認することができます。

「田んぼ支払い」を通じて、日本の田んぼ、田んぼの生きものたち、その周りの環境が守られていきます。それは、将来に向けて、私たちの子孫の命や様々な地球上の生きものの命とも繋がっています。皆様と一緒に「田んぼ市民」の輪を広げ、活動の波が日本からアジアへ、アジアから世界へと広がっていきたいと思っています。

【 C：協力店、および協力店を中心としたグループの方へ】

田んぼ市民宣言に基づき、田んぼ市民運動を行っている生産者の「生きもの認証米」を取り扱う協力店(米穀店や飲食店)が、「田んぼ支払い」を行う窓口となります。

「生きもの認証米」を申請している生産者(個人及びグループ)の担当者をBASCがご紹介致します。その後は、協力店と生産者(担当者)の間で、取引内容を確認して契約を結んでください。BASCでは、取引に関する決定権はございません。

商品(お米)の取引内容を決定した後、「田んぼ支払い金額」を設定していただきます。金額は重量によって異なりますが、概ね小売価格の5%前後に設定し、50円単位の「田んぼ支払い金額カエルシール」と「生きもの認証シール」を商品に貼ってください。

来店のお客様に田んぼ市民の生産者の活動を紹介していただき、賛同していただいたお客様に商品の価格とは別に「田んぼ支払い金額カエルシール」の貼ってある金額をいただきます。

「生きもの認証米」毎に、田んぼ支払いの金額を記帳し、「仮受け金」として扱ってください。

お客様が「田んぼ市民カード」を提示された場合は、お客様の「田んぼ市民番号」と「田んぼ支払い金額」と「生産者名(グループ名)」も記帳してください。

「田んぼ市民カード」をお持ちでないお客様には、「田んぼ市民」の入会案内をお渡しく下さい。

商品毎(田んぼ市民農家別)に集計した「田んぼ支払い金額」は月末に一括して、BASCの「田んぼ直接支払い口座」にお振込みください。また、記帳明細のコピーも送付してください。

協力店を中心とした、様々な活動にもご協力させていただきます。米穀点だけでなく、「生きもの認証米」を扱いたい飲食店などの参加もお待ちしています。店内に「生きもの認証米」の生産者の活動についてご紹介いただき、「田んぼ市民」の輪を広げていきたいと思っています。

協力店(米穀店や飲食店など)と取引のある産地で、まだ生きもの調査をされていない生産者の方にも、「田んぼ市民運動」を紹介していただき、「生きもの調査」を通じて、生産者と消費者を結ぶ役目を担っていただきたいと思います。

BASCでは、協力店における情報提供をはじめ、生きもの調査の参加協力、映画「田んぼ」の上映会、地域での研修会・勉強会の情報発信拠点となるよう支援・協力を行っていきたいと思っています。

(様式1：グループ一括申込書)

申請日：平成 年 月 日

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター 理事長 殿

私たちは、特定非営利活動法人 生物多様性農業支援センター（略称 **BASC**）の田んぼ市民運動に賛同し、以下のメンバーが一括して入会を申し込みます。

グループ名			
(ふりがな) 代表者名	(性別：男・女) 年齢： 才	(ふりがな) 担当者名	(性別：男・女) 年齢： 才
連絡先(住所)	〒		
Tel :	Fax :		
E-mail :	PC 環境 (Win / Mac)	Word (有・無)	Excel (有・無)

既に **BASC** の個人会員になられている方は、田んぼ市民としての新規入会の手続きは必要ありませんが、市民グループとしての登録が必要となります。また、既に田んぼ市民として登録され、さらにグループのメンバーになれる方も、下記の名簿にご記入ください (**BASC** 会員及び田んぼ市民の方は、田んぼ市民カードに記載してあります番号を記入してください)。

グループ名簿 (代表者を含め全員の名前を記入して下さい)

No.	名前 (ふりがな)	連絡先	BASC 会員.
1	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.
2	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.
3	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.
4	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.
5	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :	No.

(様式2：活動計画書)

申請日：平成 年 月 日

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター 理事長 殿

生きもの調査活動計画書

代表者名：
(担当者名：)
連絡先 〒
Tel：
Fax：
E-mail：

(グループ名)

私たち、 は、特定非営利活動法人 生物多様性農業支援センターの生きもの認証要領に基づき、地域の生きもの調査活動計画書を提出します。

【生きもの調査活動】

	第 回	第 回	第 回
調査日			
調査目的	<input type="checkbox"/> 営農 <input type="checkbox"/> 交流 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> その他：	<input type="checkbox"/> 営農 <input type="checkbox"/> 交流 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> その他：	<input type="checkbox"/> 営農 <input type="checkbox"/> 交流 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> その他：
調査場所(市町村まで)			
主催団体名			
参加者数(予定)			
調査方法	<input type="checkbox"/> ラインセンサス調査 <input type="checkbox"/> ランダム調査 <input type="checkbox"/> カエル調査 <input type="checkbox"/> 畦の草花調査 <input type="checkbox"/> イトミミズ・ユスリカ調査 <input type="checkbox"/> コドラート調査 <input type="checkbox"/> 生息環境調査 <input type="checkbox"/> 少人数(1~3人)による調査 <input type="checkbox"/> その他 (全国統一調査など)	<input type="checkbox"/> ラインセンサス調査 <input type="checkbox"/> ランダム調査 <input type="checkbox"/> カエル調査 <input type="checkbox"/> 畦の草花調査 <input type="checkbox"/> イトミミズ・ユスリカ調査 <input type="checkbox"/> コドラート調査 <input type="checkbox"/> 生息環境調査 <input type="checkbox"/> 少人数(1~3人)による調査 <input type="checkbox"/> その他 (全国統一調査など)	<input type="checkbox"/> ラインセンサス調査 <input type="checkbox"/> ランダム調査 <input type="checkbox"/> カエル調査 <input type="checkbox"/> 畦の草花調査 <input type="checkbox"/> イトミミズ・ユスリカ調査 <input type="checkbox"/> コドラート調査 <input type="checkbox"/> 生息環境調査 <input type="checkbox"/> 少人数(1~3人)による調査 <input type="checkbox"/> その他 (全国統一調査など)

(代表者名 (グループ名) :)

	第 回	第 回	第 回
講演会 講師および准講師の手配	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼 講 師： 名 准講師： 名	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼 講 師： 名 准講師： 名	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼 講 師： 名 准講師： 名
生きもの調査 指導者の手配	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼 コーディネーター： 名 インストラクター： 名 アシスタント： 名	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼 コーディネーター： 名 インストラクター： 名 アシスタント： 名	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼 コーディネーター： 名 インストラクター： 名 アシスタント： 名
調査道具の手配	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼
書籍 (ポケット図鑑等) の手配	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼
BASC グッズ (エコバック、T シャツ等) の手配	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼	<input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> BASC に依頼
昨年の調査による問題点や課題点がありましたらご記入下さい			
今年の調査で、特に取組みたい事、目標にしていることなどがありましたらご記入下さい			
そのほか、BASC への依頼に関して、補足する事がございましたらご記入ください			

(4 回以上実施する場合は、コピーしてご利用ください)

【 計画書の送り先 】
 NPO 法人 生物多様性農業支援センター
 〒194-0211 東京都町田市相原町 4771
 Fax : 042-711-7016 Tel : 042-711-7015
 E-mail : t a m b o @ w e h a b . j p (担当 : 石川)



(様式3：生きもの認証申請書)

申請日：平成 年 月 日

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター 理事長 殿

生きもの認証申請書

田んぼ市民グループ名：

代表者名：

(グループ名)

私たち、
センター（略称 BASC）の生きもの認証要領の基づき、地域の生きもの調査活動の認証を申請します。

は、特定非営利活動法人 生物多様性農業支援

以上

付属資料：

- ・田んぼ市民グループ名簿
- ・平成22年度 生きもの調査活動計画書
- ・平成22年度 生きもの調査結果報告書
- ・平成22年度 ビオ・アップ活動報告書

(様式4：ビオ・アップ活動報告書)

申請日：平成 年 月 日

特定非営利活動法人

生物多様性農業支援センター 理事長 殿

ビオ・アップ活動報告書

田んぼ市民グループ名：

代表者名：

対象場所	ビオ・アップ活動	既に実行している	本年度新たに実施	来年度実施を検討(○を記入)
田んぼ	代掻き後などの濁った水を排出しない			
	中干しを行わない			
	カエルやヤゴなどのための中干しの延期			
	水田内の中干し避難場所の設置			
	江や日寄せ(ビオトープ)の設置			
(その他の項目を自由にあげてください)				
水路	水路内の清掃			
	水路の一部のふたかけ			
	土水路の整備・管理			
	魚道の設置			
(その他の項目を自由にあげてください)				
畦	生きものに配慮した草刈をしている			
	美しい景観を配慮した畦の管理をしている			
(その他の項目を自由にあげてください)				
田んぼ周辺	田んぼや畑、ため池、雑木林などの清掃			
(その他の項目を自由にあげてください)				

実施状況…◎：積極的に取り組んでいる ○：取り組んでいる △：年に数回行っている

(様式5：田んぼ支払い申請書)

申請日：平成 年 月 日

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター 理事長 殿

田んぼ支払活動参加申請書

田んぼ市民グループ名：

代表者名：

(グループ名)

私たち、
センター（略称 BASC）の田んぼ支払実施要領に基づき、田んぼ支払活動への参加を申請
します。

以上

付属資料：

- ・田んぼ市民グループ名簿
- ・平成22年度 生きもの認証申請書
- ・平成22年度 生きもの調査活動計画書
- ・平成22年度 生きもの調査結果報告書

（様式 6：田んぼ子どもくらぶ申込用紙・団体（グループ）用）

申請日：平成 年 月 日

特定非営利活動法人

生物多様性農業支援センター 理事長 殿

私たちは、特定非営利活動法人 生物多様性農業支援センター（略称 **BASC**）の田んぼ市民運動に賛同し、下記の子どもたちを「田んぼ子どもくらぶ」に団体（グループ）として入会します。

グループ名			
(ふりがな) 保護者名 (代表者名)	(性別：男・女) 年齢： 才	BASC 会員	<input type="checkbox"/> BASC 会員 <input type="checkbox"/> 田んぼ市民 No.
連絡先（住所）	〒		
Tel :		Fax :	
E-mail :	PC 環境 (Win / Mac)		Word (有・無) Excel (有・無)

既に **BASC** の個人会員になられている方は、田んぼ市民としての新規入会の手続きは必要ありませんが、市民グループとしての登録が必要となります。また、既に田んぼ市民として登録されている場合は、名前と番号のみ記入してください。

田んぼ子どもくらぶ名簿（子どもたちの名前を記入して下さい）

No.	名前（ふりがな）	連絡先（上記と同じ場合は不要）
1	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :
2	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :
3	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :
4	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :
5	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :
6	(性別：男・女) 年齢： 才	〒 Tel :

特定非営利活動法人
生物多様性農業支援センター
〒194-0211 東京都町田市相原町 4771
JA 全国教育センター内
Tel : 0 4 2 - 7 1 1 - 7 0 1 5
Fax : 0 4 2 - 7 1 1 - 7 0 1 6
E-mail : tambo@wehab.jp
URL : <http://basc.jp/>

